

細胞固定剤
サイトセッター
ノン・フロソ

サイトセッターは、スプレー式細胞固定剤です。
検体を塗抹したスライドグラスにシュッとスプレーするだけ。
すべての検体に有効で、固定が確実、しかも簡素化されます。

■特長(エーテル、アルコール固定と比較して)

1. 固定時間の短縮化。スプレー後5~6分で完了します。
2. コンタミネーションがなくなります。
※粘調性の少ない液状検体(尿・胸腹水・自己採取検体など)では半乾燥してエーテル、アルコールで固定しても細胞脱落が多く、コンタミネーションをおこす危険があり注意を要します。
3. 液状検体(尿・胸腹水・自己採取検体など)では、特に細胞の脱落がありません。
4. 固定標本は樹脂膜により乾燥状態を防ぐので、そのまま郵送・移動ができます。
5. 染色性、経時安定性に優れています。スプレー固定後、10日間は安定です。
6. 製品のpHは中性です。

■成分

- ポリエチレングリコール
- イソプロピルアルコール

■容器及び内容量

エアゾール容器 75ml入り

■用法及び用量

A. 粘性検体の場合

- 1) 常法により、スライドグラスの上に検体を塗抹する。
- 2) 速やかにスライドグラスから10~15cmはなしてサイトセッターを平均にスプレーする。(1~2回)
- 3) スプレー後、5~6分放置乾燥(固定完了)し、そのまま染色操作にまわす。(スプレーによる形成膜は、はがさなくてもよい。染色中に溶消する。)

B. 液状検体の場合(尿・胸腹水など)

水分が少ない時には、そのまますぐスプレーする。水分が多い場合は、しばらく放置して半乾燥した後にスプレーする。

C. ダブル固定法

エーテル、アルコール固定をしたスライドグラスにサイトセッターをスプレーすることにより、この標本は保管、郵送、移動ができます。

■染色法

パパンニコロ染色法、及びヘマトキシリン・エオジン重染色法に適合します。

■ご注意

火気と高温に注意

高圧ガスを使用した可燃性の製品であり、危険なため、下記の注意を守ること。

- ① 炎や火気の近くで使用しないこと。
 - ② 火気を使用している室内で大量に使用しないこと。
 - ③ 高温にすると破裂の危険があるため、直射日光の当たる所やストーブ、ファンヒーターの近くなど温度が40度以上となる所に置かないこと。
 - ④ 火の中に入れてはいけないこと。
 - ⑤ 使い切って捨てること。
- 高圧ガス：LPガス

干 松浪硝子工業株式会社

〒596-0049

大阪府岸和田市八阪町2-1-10

☎072-433-1163

■応急処置

※目に入った場合

1. 直ちに大量の水で15分以上洗眼し、医師の診断を受けること。

※皮膚に付着した場合

1. 付着物を布にて素早く拭き取る。
2. 大量の流水及び石鹸又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い流す。溶剤、シンナーは使用しないこと。
3. 外観に変化が見られたり、痛みなどがある場合には医師の診断を受けること。

※吸入した場合

1. 高濃度のガスを吸入した場合は、直ちに新鮮な空気のある場所に移し、保温、安静に努め、医師の診断を受けること。
2. 呼吸が止まっている場合や弱い場合は、衣類を緩め気道を確保した上で人工呼吸を、場合によっては酸素吸入を行い、医師の診断を受けること。

■取扱い保管上の注意

※取扱い上の注意

1. 換気の良い場所で取扱う。
2. 密閉された場所における作業には十分な局所排気装置を取り付ける。
3. 噴霧を吸い込んだり、眼に入らないよう十分注意する。
4. 取扱い後は手洗いを十分に行い、作業服等に付着した場合は着替える。

※保管上の注意

1. 日光の直射を避ける。
2. 通風のよいところに保管する。
3. 火気、熱源から遠ざけて保管すること。
4. 温度が40℃以上になるところに置かないこと。
5. 水周りや湿気の高い所に置くと缶が錆びて内容物が漏洩または噴出する恐れがある。

成分:イソプロピルアルコール、
ポリエチレングリコール、
液化石油ガス



危険有害性情報

高圧の可燃性ガスが入っている。爆発範囲:1.8~9.5vol%(空気中)
蒸気を吸入すると麻酔剤として働き、繰り返しさらされた場合、粘膜への刺激、めまい、眼および皮膚を刺激します。

■注意書き

【安全対策】

使用前に取扱説明書入手すること。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急措置】

ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師の診断/手当てを受けること。
特別な処置が必要である場合製品安全シートを見ること。
吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
その後も洗浄を続けること。

【保管】

日光の直射を避ける。 通風のよい所に保管する。
火気、熱源から遠ざけて保管する。 温度が40℃以上になるところに置かないこと。
水周りや湿気の高い所に置くと缶が錆びて内容物が漏洩又は噴出する恐れがある。

【廃棄】

製品を廃棄する際は、押しボタンを押して中身を出し切ること。
廃液、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄処理業者と委託契約して処理をする。

松浪硝子工業株式会社

1. 労働安全衛生法:危険物(引火性の物質、可燃性ガス)、第2種有機溶剤等名称を通知すべき有害物、名称を表示すべき有害物
2. 高圧ガス保安法:液化ガス、可燃性ガス(エアゾール製品は適用除外品となる)
3. 消防法:第4類引火性液体、アルコール類
4. 船舶安全法:危険物(高圧ガス)、引火性液体類
5. 航空法:高圧ガス、引火性液体
6. 危険物船舶運送及び貯蔵規則:危険物(高圧ガス)、中引火点引火性液体